

暑中見舞い申し上げます

今年の夏も厳しい暑さが続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？
彩花スタッフはこの暑さの中、エアコンクリーニングでお客様のところを走り回っております。スタッフとおお客様との関係づくりがレベルアップし、リピートのおお客様が増えてきております。それぞれの担当が責任を持って仕事をして、それが楽しく喜びの仕事に変化をしている証拠だと思います。
これからも商いを通じて人間成長を計って、お客様に喜んで頂ける仕事をしていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



㈱くらしサポート彩り

この度、お客様にさらなるお役立ちをと新しく会社を新設致しました。
【㈱くらしサポート彩り】という名前です。どうしてこの会社を作ろうと思ったのかは、清掃でお客様を訪問した際、悪くなった所を修理したいとか、クロスを張り替えたい、畳、襖を入れ替えたい等、どこに依頼したらいいかわからないといったお声を多々お聞きして今までは、業者を紹介していました。
このようなお客様の悩みを、自社で解決できたらいいなと思っていました。
そんな時、我社がお掃除でお世話になっている会社の補助清掃をしている方がいて、たまたま、その方がその会社を退社したという情報を聞きました。気になっていたので電話をし、私が考えている仕事の話をしたら仕事に対する考えが一致して、我が社に入社してくれることになりました。彼は、この仕事が好きだったと思います。しばらくすると「くらしサポート」の話が舞い込んでくるようになり、今年の初めから動き始めてこれだったらいけると確信しました。そして、この7月7日に、【㈱くらしサポート彩り】の新事業をスタートさせました。これからもこの部門と清掃部門でさらなるお客様のお役に立ちたいと思います。



女性スタッフにお願いしたいのですが？

エアコン清掃キャンペーンが順調に台数を伸ばしています。特に女性スタッフが作業できるようになったことが作業効率アップにつながっているようです、ホームページを見て女性スタッフに来ていただきたいとの声が多いことにビックリするとともに、男性スタッフよりお客様が安心するのでしょうか。
他の清掃業者さんでエアコン清掃をする女性技術者はあまり聞いたことがありません。
当社は女性メンバー10人居るのですが、すごいことに3名ができるようになりました。他の女性スタッフもやる気満々で楽しみです。無理やりさせるようなことはしません。やる気があればの話です。女性のお客様は、男性一人で作業に訪問するのを嫌う傾向にあります。
その問題を解決していく方向になると思います。そして、作業に入り、コミュニケーションをとって追加の仕事を頂いたり、リピートにも繋がっています。
それを通じてスタッフも成長しています。まさに「商いを通じて人間成長」の証です。そんなスタッフを目の前にしてこれからの成長が楽しみです。
スタッフとともにお客様から信頼される掃除会社を目指していきます。



お客様の声

クリーン彩花では、お掃除終了後、お客様にアンケートをお願いしています。
お客様より嬉しいお声を頂きましたのでご紹介します。



「気持ちも一緒に綺麗になった気がした」
お客様の満足度 ★★★★★
いろんなお店でアンケートをとと言われてきましたが答えた事がなく今回初めての口コミです。
言葉遣い、動作のひとつひとつがとても丁寧でなんとなく気持ちもキレイになった気がしました！

「また次回もお願いしたいです」
お客様の満足度 ★★★★★
以前利用した娘の口コミでお願いしました。
テレビなどで安さを謳ったCMもあり、どちらにしようか迷っておりましたが、安さに飛びついた結果3倍くらいの費用になったと友達の話を知っていたので、費用、掃除内容等、身内の口コミは間違いなかったです。次回もお願いしたいです。

イノベーションの極意

「コンビニから目が離せない」

最近、「イノベーション」という言葉がごく普通に使われるようになりました。

けれど、その意味は？と問われると、さて困ったなというのが実際ではないでしょうか。

イノベーションの現場として一番のおすすめはコンビニです。コンビニはこれまでも24時間営業とか宅急便取扱いとか日本社会の隅々に非連続的な変化を及ぼしてきましたが、最近のコンビニの展開はさらに凄いことになっています。ミニサラダ、さばの塩焼き（1切れ）、半熟たまご（2個入り）といった小分け商品ラインアップが一気に増えています。美味しいものを少しずつというわけで、どれも高齢者向けを意識した商品です。

高齢化、人口構造変化という社会変化に対応し新しい切り口ややり方で適応し続けているコンビニはまさにイノベーションの最前線。「コンビニに行って、イノベーションを学ぼう」と思わず言いたくなります。

「新しい軌道を選びとる」

イノベーションという考え方を最初に提案したのはシュンペーターというオーストリア出身の経済学者でした。110年前のことです。

シュンペーターは「経済活動の中で生産手段や資源、労働力などをそれまでとは異なる仕方で新結合すること」と定義しました。堅苦しい表現ですが、要はそれまでなかったアイデア、発想、考え方で要素の新しい組合せを遂行し、「この手があったのか！」という変化を生み出し、生活や世界の見えを変えていくことだと言うのです。これまでのモノサシ（生産性、機能性、価格競争力）の延長線上には出てこない変化こそがビジネスと社会を発展させるというわけです。

また、シュンペーターの言葉に「馬車を何台つないでも機関車にはならない」というのがあります。革新（イノベーション）は同一軌道上の量的な“進歩”をめざすことではなく、新しい軌道を選びとることだというわけです。

「暮らしのメンテナンス」

クリーン彩花ではこの7月7日に、「くらしサポート彩り」という新会社を設立し、新事業をスタートさせました。エアコンクリーニング、フロアクリーニング、水回りクリーニングという従来の「クリーニング」だけでなく、修理・補修・取り替え・ゴミ廃棄などお客様の困りごとを、暮らしの「メンテナンス」を何でも仰せつかっていこう！というものです。高齢化社会ならではのニーズを前にしたイノベーションへの取り組みです。

「イノベーションの機会は身近に」

イノベーションというと構えがちですが、セブンイレブンやローソンの展開に目を懲らしながら、「くらしのコンビニ（便利屋さん）」をとことんめざして行くことだと思います。

都会では歩いて10分、15分のところにあるコンビニが若い世代に加え、地域の高齢者に密着したサービス開発を続けています。固定観念をちょっとずらしてみるだけで、身の周りの困りごと、お客様の何気ない“ぼやき”にはイノベーションの機会が潜んでいると気づきます。

「熱さまシート」「サカムケア」「のどぬーる」等、コンビニ棚で手に取りたくなるヒット商品を次々に送り出している会社で小林製菓がありますが、

そのキャッチフレーズは「あったらいいなを形にする」です。

お客様に喜んでもらえるサービスの極意がありそうに思います。

しばらく、コンビニ通いが続きそうです。（らく）

